

「二つの二つの経験を大切に」

2022/3/19
延岡

南中2年生が立志のついで

延岡市の南中学校
（三正志校長、46
6人）で4日、立志の
ついでが開かれた。大
人への成長の変わり目
にある2年生（18歳）
168人が儀式に臨
み、将来への決意を新
たにした。

3組の渡邊朱枝（あ
や）さんは「農業関
係の仕事に就き、自分
が育てた野菜や果物を
たくさんの人に食べて
もらいたい」。

この日は、秘書技能
1級を持ち、キャリアレ
コンサルタントとして
求職者を支援する細川
真由美さん（みやびさき
若者サポートステッ
ションサテライト延

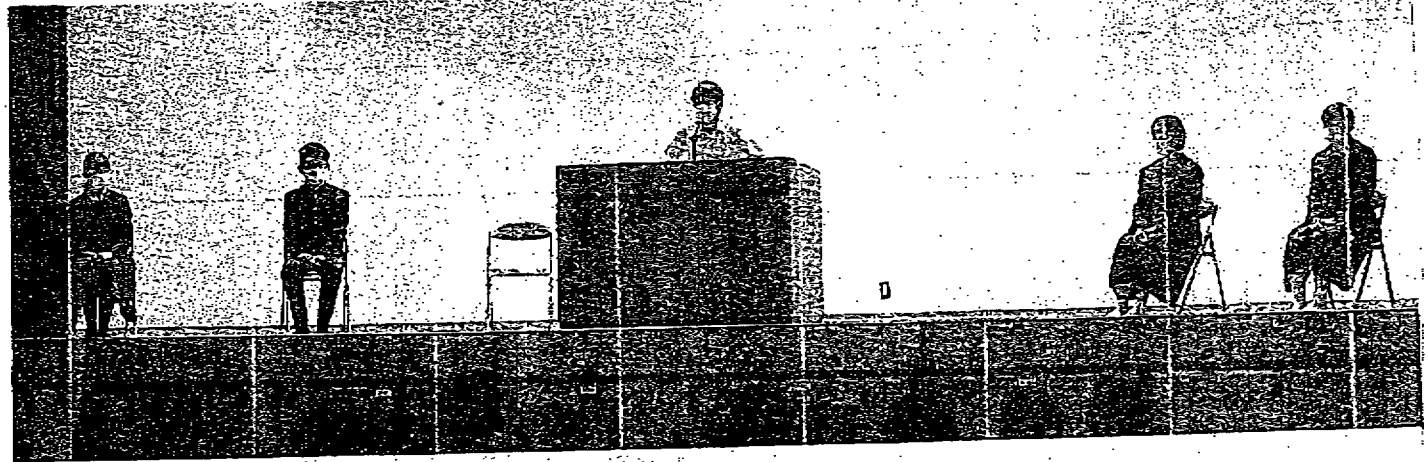
岡の「ゆいじん」は
と題した講話もあった。
細川さんは自身の経
験を交えながら進路計
画や自己理解の大切さ
などに言及。日々の積
み重ねは必ず何かの役
に立つ。10年後の自分
に笑われないうまう一
つ二つの経験を大切に
過ごしてほしい」とエ
ールを送った。

冒頭、三正志校長は中
学生は心も体も大きく
変わる時期。悩み苦し
むことも多いと思う
が、すべてを成長の糧
にして立派な大人に
なしてほしい」とあい
さう。続いて各クラスの
の代表者が登壇し、将
来の夢や目標を発表し
た。

3組の窪田真（のりも
うま）さんは「勉強や
人との会話を通して、
コミュニケーションカ
などの人間性を身に付
けたら」。

5組の内田陽菜さん
は「小学生の時に体験

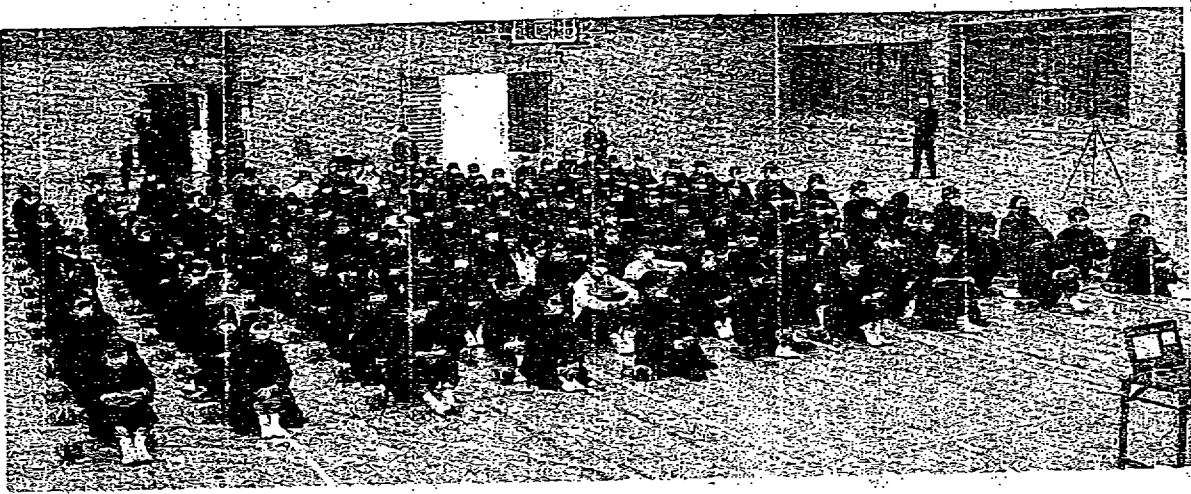
した薬剤師になりたい
を感じた。国家試験は
狭き門だが頑張りたい
」とそれぞれの思い
を語った。



発表に臨む各クラスの代表者たち



講話した細川さん（右）と、グループワークの
答えを発表する生徒



南中で開かれた立志のついで